

所沢市立教育センター「所報」

いっしょだ。

授業が変わり、学校を変えて、子どもを伸ばそう

所沢市の教育の理念

みんなが持っている三つの“宝”を
掘り起こして大きく育てます
心身のたくましさ
未来を拓く知恵
ふるさと所沢を愛する心



学び創造アクティブプラン 研究校支援研修

＜主体的・対話的で深い学びの実現を目指す授業づくり研修会＞

日時:1月29日(水) 会場:西富小学校

「主体的・対話的で深い学びができる児童の育成～西富スタンダードにより深い学びを目指す授業づくり～」というテーマで1年国語、3年総合的な学習の時間、5年算数で授業公開が行われました。どの授業でも思考を可視化して、協働して学び合う授業を展開していました。その後、元文教大学教授 嶋野道弘先生に

「**学びは自己から発し、学び合いを通じて自己に帰着する**」「**学力は自分自身の学びの深化や成長を実感することである**」と御指導いただきました。



＜わかる授業づくり研修会＞

日時:1月30日(木) 会場:柳瀬中学校

『すべての生徒が「わかる」「できる」を実感する授業の創造』をテーマに社会、数学、技術家庭、英語、理科、国語、体育、音楽の授業公開が行われました。授業の見通しをもち、グループでの話し合い活動を取り入れるなど、生徒が主体的に学ぶ姿がみられました。その後、国立教育政策研究所総括

研究官 山森光陽先生から、「**浅い理解(知識・技能)と深い理解(思考力)の往還関係を踏まえて授業を組み立てることが大切**」と御指導いただきました。



＜ICTを活用した授業づくり研修会＞

日時:1月31日(金) 会場:美原中学校

「わかる喜びと学ぶ楽しさを味わわせる授業の創造～ICTを活用した深い学びにつながる誰も置き去りにしない授業づくり～」というテーマで1年理科、2年数学、3年社会の授業公開が行われました。生徒一人一人がタブレットを活用し、課題に対してグループで解決策を出し、発表するなどICTを効果的に活用した授業が展開されていました。その後、十文字学園女子大学教授 川瀬基寛先生からは、「**ICTは手段の1つ。それを筆記用具のように誰もが使えるような環境づくりが大切である。**」と御指導いただきました。



1月の研修会より

ESD 教育で持続可能な社会の創り手を!

北秋津小学校において ESD の視点を取り入れた6年生理科の授業公開が行われました。授業では、「**つながりへの気づき**」、「**持続的な問い**」、「**深いふりかえり**」の3つの視点で「身の回りの電気」について実験を通して考えていました。自由学園特任教授 成田喜一郎先生からは「ESD 学びの時間 (授業) づくりへの道」について、学びの時間 (授業) とそのカリキュラム (単元) をいかにデザインし、改善・創造するかについて御指導いただきました。



ESD (持続可能な開発のための教育) 研修会

＜感想より＞

・所沢市ESDの10年間の歩みを実感したワークショップとなりました。改めてやってきたことの価値を見直すよい機会となりました。

熱心な無理解者にならない、つくらせない!

「**通級指導教室の指導**」、「**発達特性・認知特性に合わせた教育課程**」、「**専門的な知識・スキルの身に付け方**」について泉小 坂本條樹先生、中央中 杉森弘先生から御指導いただきました。子どもたちへの「無理解」で、「直そう」と積極的に支援・指導を繰り返してしまう「**熱心な無理解者**」を生み出さないことが大切であると御指導いただきました。



＜感想より＞

特別支援教育を担う教員養成研修会

・初任者として赴任した学校でも通級に通う児童が非常に多く通級の先生方には大変お世話になっております。今後も困り感を持つ子たちに対して、熱心な無理解者にならないよう努めていきたいと思っております。

教師は、「情報の職人たれ」!

富岡小学校において、3年生社会科の授業公開(「**かわってきた所沢市**」)が行われました。主に「**思考力・判断力・表現力**」を育成するための資料(地図)の活用に重点を置き、昔と今の地図から変化したところをグループで話し合っていました。指導者の女子栄養大学 松尾鉄城先生からは、「**社会科の原点は、現地を歩くこと**」、「**情報(教育素材)を入手し、どう加工(教材化)するか重要である。**」と御指導いただきました。



思考力・判断力・表現力の向上を目指した社会科授業研修会

＜感想より＞

・地図は点、線、面で読むという言葉が印象に残りました。社会科の意欲付けのためにも単元計画、他教科との関連付け等が大切だと感じました。

プログラミングで思考力アップ!

来年度から始まるプログラミング教育について5年生算数「**整数の性質**」での授業公開が行われました。「**プログル**」を活用して子どもたちは操作方法を学びながらペアで学習課題を進めていました。十文字学園女子大学教授 安達一寿先生からは「**プログラミング学習では、気づかせ、学習活動に取り組みさせることが深い学びにつながる。**」と御指導いただきました。



ICT活用研修会④

＜感想より＞

・プログルの実践例を研修できてよかったです。私だけでなく、学校の職員にも伝達していきたいです。
・小学校のプログラミング教育の様子を知ることができ、ICT機器の活用を今後活かしていきたい。



2月15日(土)の研究員等研究発表会にぜひ御参加を!

教育センターの研究員による研究発表会及び学び創造アクティブプラン研究委託校研究発表会が行われます。下の表にある各研究部による研究成果の発表が行われます。講演会も予定されていますので、多くの皆様の参加をお待ちしております!(参加のお申し込みは、教育センターホームページからお願いいたします)

	<研究部>
授業実践研究部	研究主題:「主体的・対話的で深い学びの視点からの指導の工夫」
	<算数科・数学科> 問題発見・解決の過程の遂行を通して
	<図画工作科> 「つくる喜び」「広がる想い」「豊かな表現」
	<道徳科> 伝え合いを通して自己の生き方についての考えを深める授業の展開
教育相談研究部	児童生徒の適応力を高める 手立てと体制づくり
専門研究部	<国語科> 言葉による見方・考え方を働かせる国語科の授業づくり
	<理科> 「一枚ポートフォリオ」を活用し、学びの自覚を促す指導法の研究
	<体育科> 誰もが達成感を味わえる体育科授業の研究
	<外国語活動・外国語科> 英語で伝え合う必然性を持たせ、児童の「～たい」を実現する授業を目指して
	<道徳科> 多様な他者との関わりを通して、自己を見つめ自分の生き方について考えを深められる道徳科の授業づくり
委託研究部	これからのコンピュータネットワーク調査活用研究協議会
学び創造アクティブプラン学力向上推進事業研究委託校 研究発表会 9:30~10:30	

御指導いただいた先生方

教育相談研究部 早稲田大学 講師 野村 和孝 先生

専門研究員

国語科 大妻女子大学 教授 樺山 敏郎 先生	外国語活動・外国語科 東京家政大学 教授 太田 洋 先生
理科 淑徳大学 教授 加藤 尚裕 先生	道徳科 東京福祉大学 教授 鈴木 邦夫 先生
体育科 埼玉大学 准教授 石川 泰成 先生	

委託研究部 十文字学園女子大学 教授 安達 一寿 先生

11:05~

講演会(研究員合同研修会~主体的・対話的で深い学びのための研修会③)

指導者 十文字学園女子大学 教授 富山哲也 先生

演題 「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」

教育相談室より

令和2年度 教育相談室ポスター 原画決定

教育相談室の活動について広くお伝えするために、市内の中学校にポスター原画の募集をしています。最優秀作品は、次年度の教育相談室ポスターとなり、1年間市内の小・中学校や公共機関等に掲示いたします。

今年度は、上山口中学校・北野中学校・三ヶ島中学校・美原中学校に依頼したところ、合計20点の応募がありました。たくさんの御応募、ありがとうございました。

どの作品も教育相談室のイメージにあった心のこもった素晴らしい作品で、難しい審査となりましたが、厳正なる選考の結果、右の作品が最優秀賞に選ばれました。令和2年度の教育相談室ポスターの原画といたします。

最優秀賞

